


**大地申
第10号**
**2019年度「ライフサイクルの深度化」に基づく異動及び、
復帰に関する申し入れを提出する！**

大宮地本は、「ライフサイクルの深度化」施策実施以降、発生している事象について労使議論を積み重ね、施策の目的実現と安全で働きがいのある制度の定着を目指して取り組んできました。

これまで、今施策を通じて多くの組合員が駅・車掌・運転士経験を活かして、駅輸送業務の安全レベル向上に大きく貢献しています。来年度からは「ジョブローテーション」施策がスタートするため「ライフサイクルの深度化」施策における駅への異動は第13陣で最後となります。第13陣が駅輸送業務を担い、鉄道運行部門全体の安全レベル向上を図る必要性など施策の目的を達成させるためにも「運輸のプロ」を作り上げるまで、施策の主旨を踏まえて運用しなくてはなりません。

一方で、異動箇所となる宇都宮駅・小金井駅・南浦和駅では、車内点検業務や遺失物取扱い業務等「ライフサイクルの深度化」施策を担う社員の主たる業務が委託されることで、「今後どのように運輸のプロを育成していくのか」「作業ダイヤがなくなってしまうのでは異動も出来ないのでは」といった不安の声が多くあげられています。

従って、覚書・議事録の確認事項を遵守し、施策の目的を達成させる体制構築を求め、下記の通り申し入れを行いますので誠意ある回答を要請します。

申し入れ項目

1. ライフサイクルの深度化に関する覚書（2008年3月締結）を遵守し、この間の議論経過を踏まえた運用をおこなうこと。なお対象者に対し、施策の運用についての具体的な意見交換の場を継続して行うこと。
2. ライフサイクル第13陣の異動規模・異動箇所及び異動時期を明らかにすること。
3. 各駅・運転区所の今後のライフサイクル深度化制度を運用する上での課題について明らかにすること。また、施策の趣旨に踏まえ「運輸のプロ」「輸送のプロ」の育成を実現すること。
4. ライフサイクル第13陣の対象者の異動及び、第10陣の復帰は、この間の議論経過を踏まえ、本人希望を尊重し、本部—本社間の「労使メモ」に則り取り扱うこと。



**職場組合員の不安解消と、
覚書・議事録の遵守を求めています！**